

# イタリア語専攻

多様性と伝統を大切にすイタリアの言語、文学、歴史、社会、文化等に強い関心を持ち、イタリア語の高度な運用能力を身につけて、日本とイタリア両国の相互理解に貢献しようという意欲のある人を歓迎します。



イタリア人で知っている名前を挙げてみてと言われたら、みなさん、どう答えるでしょうか。サッカー選手のトッティ、映画俳優／監督のロベルト・ベニーニ、靴のサルヴァトーレ・フェラガモなどの名前が挙がるでしょうか。ちょっと詳しい人なら、ダンテやラファエロ、ガリバルディ、マリア・カラス、あるいはベルルスコーニといった名前も挙がるかもしれません。

イタリアは、芸術、文学、音楽、ファッション、サッカー、映画など、様々な分野で個性的な才能を輩出してきた地域です。イタリア語を学ぶということは、このような多様な文化領域にアプローチするうえで非常に有効です。例えば、ミケランジェロの彫刻に興味があるという場合、ミケランジェロが書き残した手紙などを自分で読むことができたら、作品を理解するうえで大きな手がかりとなりますよね。また、劇や映画に関心があるという場合、台本・脚本を自分で読んで、役者の台詞の話し方やそのニュアンスまで理解することができれば、作品を見るうえで大いに役立つでしょう。

ただ、どんな言語にもいえることですが、一つの外国語を修得することは決して容易な話ではありません。イタリア語の場合、発音は非常に分かりやすいのですが、文法には少々厄介なところがあります。例えばイタリア語の名詞には、必ず男女の性別があります。treno (列車) は男性名詞、piazza (広場) は女性名詞といった具合に。面白いでしょ？

1・2年次には、そのような点を含めてイタリア語の基礎をしっかりと身に付けることになります。3・4年次には、習得したイタリア語を駆使して、様々な専門分野の授業に参加することになります。大学の授業は決して簡単ではありませんが、幸いなことに、語学の習得は、努力すれば必ずそれだけの報いがあります。みなさんと一緒に学ぶのを、私たちも楽しみにしています。



中部イタリア、世界遺産の街ピエンツァ

「ブオンジョルノ」

## Buongiorno

学生の声 

4年 姫島 鷹平

Ciao, tutti! (こんにちは、みなさん！)

「イタリア」と聞いてみなさんはどのようなことをイメージするでしょうか？私はイタリアに数多く存在する世界遺産や各都市の景観に惹かれてイタリア語専攻の門を叩きました。ピザやパスタといった食文化であったり、ダンテのような文豪やラファエロやダ・ヴィンチといった巨匠であったりと、興味・関心の的は各人各様だと思います。

大学の講義では1年・2年次は文法や会話などの基礎演習を行い、3年次以降は応用演習や自分の興味のある分野について研究します。イタリア語専攻は先輩と後輩の結びつきも強く、全学年での食事会も年に数回行われます。ですので、「イタリアに留学したい！」あるいは漠然と「留学してみたい」と考えている人もいるかと思いますが、イタリア語専攻にいるたくさんの人が様々な国への留学を経験しているので、気軽に質問したりアドバイスをもらったりすることができるので安心してください。私も約1年間、英語とイタリア語の習得を目指しアイルランドとイタリアへ留学していました。先生や先輩たちの貴重な体験談を聞いて、期待と不安を抱きながら実際に現地でご過ごし、現在みなさんにその経験を伝える側になっています。

最後になりましたが、イタリア語専攻の一員としてみなさんと共に学ぶことを楽しみにしています。

Ci vediamo! (またお会いしましょう！)



留学体験記 

4年 工藤 祐規子

私は13ヶ月間、イタリアのシチリア島にあるパレルモ大学に留学していました。シチリア島はイタリア半島の南に位置する地中海に浮かぶ島で、アフリカ大陸とも非常に近いので、アラブやノルマンなどの様々な文化が融合した独自の文化を持っています。この独自の文化や豊かで美しい自然に惹かれて、私はシチリア島への留学を決めました。

当初、私の周囲にはシチリア島に留学したことのある人はおろかシチリア島を訪れたことのある人さえいませんでした。全く新しい環境に飛び込んでいくことは非常に勇気のいることですが、こうした経験が私に失敗を恐れず困難に向き合う度胸とチャレンジ精神を授けてくれました。

大学の語学コースにはシチリア島の地理的な特徴から、アフリカから家族を残して移民してきた学生たちも大勢いました。留学前はニュースでしか見聞きすることがないと思っていた出来事が、実際に彼らと過ごし話を聞くことで、非常に身近で身に差し迫った問題に感じました。また、多くの学生たちと過ごし、ジェラートやインフィオラータの国際大会に参加するなど、多くの経験を積むことが出来ました。留学を通じて、今までとは全く異なった新しい世界を体験し、自分の殻を破って視野や限界を広げることが出来ました。学生時代にこのような貴重な経験をする事が出来て、留学に携った全ての人たちに感謝しています。

